



SAIJO
LIONS
CLUB

西条



ライオンズクラブ国際協会創立者
MELVIN JONES



西条ライオンズクラブ 結成 **60** 周年記念事業
「わたしの夢」作文募集

コロナ禍にあえぐ社会の今、
未来を担う中学生に夢のある作文を募集します

今の社会を誰が予測できたでしょう
楽しみにしていたことも、当たり前に来ていたことも
諦めなくてはならないこんな時だからこそ

あなたが抱く未来を・・・
あなたが望む社会を・・・
なりたい自分を・・・
そして、あなたの夢を教えてください



テーマ	【わたしの夢】
文字数	400字～800字程度
応募締切	2021年1月31日
賞	最優秀賞（1名）賞状と図書券（10000円） 優秀賞（5名）賞状と図書券（5000円） 西条LC賞（5名）賞状と図書券（5000円） 参加賞（全員）図書券（500円）
発表	入賞作品を掲載した文集を作成します。 応募者全員に配布予定

No. 525

3 月号 2021

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌



テーマ 「 We Serve 」

2020-2021 ライオンズクラブ国際協会 336-A地区

スローガン「 Service Activity is the key to Lions Clubs 」

2020-2021 336-A地区ガバナー 酒井公一

スローガン「 誇り・進化・輝く未来に ウィサーブ 」
キーワード「 会員ファースト 」



2020-2021 西条ライオンズクラブ第60代会長 宮崎英明

スローガン「 感動で 一つの心 We Serve 」
キーワード「 絆 」

故 安藤憲正 L を偲んで

今岡正士

令和3年2月15日(月)ルミエールあずま会館において、安藤憲正 L の告別式が行われました。昨年12月末に安藤憲正 L が白血病で松山県立中央病院に入院されたと伺いました。本来ならすぐにもかけつけたいところだったのですが、コロナ禍ということもありお見舞にも行けず忸怩たる思いでした。最近の医学の進歩もあり私自身、半年余りでよくなって退院するものと思っていました。その後、本年2月に西条村上記念病院に転院されたことを聞き快復に向かっているものだと思っていました。そんな矢先2月13日に逝去の知らせを受け、もうどうしていいか驚きと同時に、しばらく信じる事さえできませんでした。

告別式では、安らかに眠る元気な頃と変わらない穏やかな安藤憲正 L の顔を拝見し、もう会えなくなるのかと思うと悲しい気持ちでいっぱいになりました。そして63才という早すぎる別れにご家族の心中を思うと心が痛みます。一日も早くご家族の心の回復を願うばかりです。

私と安藤憲正 L は同じ昭和33年生まれで、つい3年ほど前になりますが、クラブの皆さんが還暦祝い(当時5名)をつじ丸で行ってくださったことを思い出します。その時にこれからの人生お互い楽しもうと約束していたのに、こんな事になるとは残念でなりません。

安藤憲正 L は人情味のある裏表のない心優しい性格で、その傍ら一度決めたことは必ずやり通すそんな人でした。こんな事がありました。60才を過ぎてから一級建築士の資格取得に挑戦すると聞きました。試験が年に一度しかない難しい資格です。今思うと、普通なら落ちるとかつこ悪いのであまり人には言わないのですが、あえて人に言うことで自分にプレッシャーをかけていたのだと思います。しかし無情にもその年、資格取得はなりません。普通ならそこで諦めるのですが、次の年も試験に挑戦し見事合格されました。西安建設(株)の新社屋も建設され、さあこれからという時にさぞかし無念だったと思います。

私は安藤憲正 L が第52代会長の時に、幹事をさせて頂きました。入会して2年を過ぎた頃だったのでライオンズクラブについて、いろいろと教えてもらったことを思い出します。その年は、100%出席例会を3度、1月第1(新年)例会では石鎚神社で家族、知人を交えた200%例会(288%)も達成いたしました。安藤憲正 L の指導力の賜物だと思います。

人間、早かれ遅かれいつかは死を迎えます。後に私が天国へ行くことができれば、天国で安藤憲正 L と再会できることを切に願います。安藤憲正 L のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

“ 安ちゃん、ゆっくりと休んでください。また会う日まで ”



シリーズ

伊予西條遺産

～ テーマ ～

1664.11 大保木・銀納義民のお話

江戸時代、年貢（税金）は米で治めることとなっていた。米で納められない年貢を、銀貨で納めさせてくれないか



西条市福武の旧国道（南海道・金毘羅街道・讃岐街道）沿いに「首無し地蔵」といって首のないお地蔵さんがおられます。

このお地蔵さんの起源をたどると、江戸時代初期、伊豫国西條藩（藩主一柳直興 | なおおき）で起こった大保木銀納事件に結びつきます。

大保木（おおふき）とは、崖を意味する「大歩危（ほき）」から来た名前。急峻なという意味で、そんな困難な生産条件の下での大保木地区（※①中奥山村、黒瀬村、大保木山村、西之川山村、東之川山村の五カ村落）の五カ山農民は、米が満足に穫れず加重な物納年貢賦課に苦しんでいた。

寛文4年（1664年）、米の不作が続き米価の高騰により米納の為の買米が困難になり生活困窮に陥った為、見かねた中奥山庄屋・工藤治兵衛（くどうじへえ | 当時33歳）は、五カ村民の代表となり、米の代わりに年貢を銀（お金）で納められるように西条藩主に死を覚悟して「五カ山庄屋五人連署血判の銀納願」を直訴しました。

（江戸時代は、百姓が藩主にはむかうとただでは済まない時代でした。）

しかし、治兵衛らの訴えは認められず、無残にも問答無用のような形で、治兵衛の家族（男子）も含め16人が捕らえられ、1664年11月28日大雪となった寒い朝に、なぎの木さんで処刑（打ち首）されてしまいました。

特に、首謀者の治兵衛一家は子供に至るまで処刑されました。※②なかでも哀れなのは4～5歳になる五男・林蔵で処刑の際、太刃取りの役人は恐怖を与えないためか、子供に蜜柑（ミカン）を与えると喜んでこれを食べているところを後ろから斬りました。その折、頸の切り口から蜜柑の房が飛び出たという陰惨な話がありました。（西條藩・西條誌より）※③

それから6年後に銀納は認められ、村の人々の命を救った史実に基づいた事件がありました。

福武におられるお地蔵さんは、この義民たちを大変不敏に思って、「首無し地蔵」をたて、その霊を慰めたと言われています。

※①当時、大保木地区は「兎之山村」「黒瀬山村」「大保木山村」「中奥山村」「西之川山村」「東之川山村」の六ヶ村（六ヶ山）で構成されていました。加茂川の下流にあった平地の多い「兎之山村」だけは、広い田んぼや畑が確保できていました。兎之山村の収穫量は、他の五カ村の合計収穫量と同じぐらいあった。

※②工藤治兵衛一家男子

治兵衛（33歳）、長男・利左衛門（15歳）、次男・申松（13歳）、三男・文太郎（11歳）、四男・文四郎（9歳）、五男・林蔵（5歳）。打ち首は、直訴の首謀者に対する厳罰として逆縁（仏教用語：親より先に子が死んでしまうこと）、つまり幼子から順に斬っていった。

※③工藤治兵衛ら 16 名が処刑された翌年(寛文 5 年 7 月 29 日)、庄屋・治兵衛一家の残虐な処刑、諫言した家来への切腹申しつけの件、参勤の遅れなど一柳直興の失政を理由に、一柳家は幕府の裁定により改易となり、直興は加賀の前田家(前田綱紀)へお預け。西条藩は天領つまり幕府直轄地となり、五年後に徳川家康の十男にして紀州藩主である徳川頼宣の三男・頼純が、松平姓を名のって西条松平初代藩主となった。

寛文3年3月、家臣眞鍋次郎兵衛、岩崎五兵衛、平野文蔵、大田玄兵衛の4人が一柳直興の暴政を憂えて諫死したと伝えられる。

【直興の改易 | 不届きの子細】

- 一. 禁中御作事始並に御移徙(移転のこと)前、両度上京致すべきの旨、御暇の節、仰せつけらるるの処、御移徙相済以後罷上候事。
- 一. 今度参勤の砌、煩ついで遅参の段、断の書状延引、且又参府後、気色様体、年寄共まで終に相断らざる事。
- 一. **常々家中、並領内百姓等の仕置悪しく、殊更内証好色不作法の事。**

とありますが、「常々家中並領内百姓等の仕置悪しく」の頁は、大保木銀納事件、四忠臣諫死事件等をさすもので、外様取潰の格好の理由であった。



「六ヶ山」付近
(国土地理院発行 5 万分の 1 地形図、西条・石鎚山を 50% 縮小のうえ合成)



↑ この碑は「市民の森」麓の位置する常福寺本殿付近に建立されています

【参考文献】

- 「西條史談(西條史談かい)」「えひめの記憶(愛媛県生涯学習センター)」「西條誌(日野和煦)」「銀納義民伝(銀納義民 350 周年記念事業実行委員会)」「山と日本人(宮本常一)」他

昨年「今年は、5G・自動運転・AI・キャッシュレス・働き方改革の年ですね」と年賀状をいただいた方からの今年の年賀状には、「…とと思っていましたが、新型コロナが先でした」とありました。

新型コロナウイルスの感染拡大で世界を取り巻く状況は一変し、観光・外食産業は言うに及ばず、世界秩序の揺らぎ・物流の停滞・商談の自粛・西条まつりの統一運行中止もあり、総じてマイナスの影響を受けておられると思います。もちろん、業態・業種・取引先にもよりますが。

加えて、新型コロナで「DX(デジタルトランスフォーメーション、デジタル技術による変革)」、「経済主体のプラットフォーム化(業態を跨いでの囲い込み)・新興企業によるマッチングサービスの伸展・ギグエコノミーの勃興(分業のミニマム化)」、「働き方改革(多様で柔軟な働き方)」などが加速しており、銀行も対応が必須となっています。

私どもは財務体質こそ健全と自負しておりますが、地方銀行はコロナ禍のもとでも容赦なく経営革新を迫られており、地域の方々にご迷惑をおかけしているように店舗展開の見直しを始め、収益・コスト構造の変革が急務となっています。竹中平蔵氏が、「金融庁は地域金融機関の非常事態宣言を出すべし」と言っているほどです。一方、収益源確保の観点から規制緩和を受け、「地域商社の設立、人材紹介業への参入、所有不動産の賃貸」も可能になっていますが、地元の皆さんと競うつもりもなく、「地域経済の活性化なしに銀行経営は成り立たない」との考えに立脚しています。

話を戻しますが、新型コロナを発端として、そして中長期的には「グリーン革命」も含めて時代の変化が加速していくと、「今まで経験したことのない課題が生まれてくる」と思います。銀行にも、そしてお客さまにも。

お客さまに対しては、「本業支援力の底上げ」をキーワードに、寄り添いながらともに考えるしかない。そして、銀行自身も変化に対応し続け、DX を軸に行員の手で最適なサービスを提供していくしかないと考えます。

新年を迎え、西条支店の行員には、「変化を許容する心」を大前提に、「本質を捉える知」「他者を感じる力」「先頭に立つ勇氣」を持つと挨拶しました。変化の時代には、もしかすると「計画は無用、戦略も不要」(一橋ビジネススクール教授 楠木建: 主な著書「ストーリーとしての経営戦略」…割と共感できます。)なのかもしれません。

観念的ですが、コロナ等で生まれる変化に上手く流されながら、考えて、感じて、先頭に立って、今できることに集中していくしかないと考えます。その先に変化に対応した自分そして銀行があると思っています。(一方で、「今こそ激動期！」という思い込みのワナにかかっている気もします。本質は変わらない？チャンスは地方にあり？)

私たちは試練を克服出来る

【LION 誌 2021年 3・4 月号より抜粋】

ライオンズの皆さん、こんにちは！

昨年は苦闘の一年となりました。この前例のない事態を前に、健康でいるための苦闘、恵まれない人々に奉仕するための苦闘、私たちの存在意義を維持するための苦闘です。

しかし新しい一年が始まり、年明けと共に目的意識と意義も新たになりました。直面してきたあらゆることを考える時、私はヘレン・ケラーの言葉を思い出します。彼女は苦しみを最大の祝福の一つとして捉え、次のように言いました。「それは忍耐と思いやりを教えてください。世の中は苦しみに満ちています。でも世の中はまた、その苦しみを克服する機会であふれてもいるのです。」これまで、そして今も続いているライオンズの活動を見ても、それは明らかです。ライオンズは忍耐強く難局に立ち向かっています。最も困窮している人々に大きな思いやりを示しています。そして、自らが試練を克服するだけでなく、世界が克服出来るよう支援しています。

今はもう昨年とは違う一年です。後ろを振り返るのではなく、前を見据える時です。昨年の試練を通して、私たちは変わることが出来、また変わる必要があります。同時に、ライオンズとして前進し続けなければなりません。そしてこうした試練を、私たちは奉仕を通して克服していきます。新たな一年に目を向けようではありませんか。それは新しい苦しみと共に、新しい可能性にも満ちています。

Jung Yui Choi

2020-2021 年度国際会長ジュンヨル・チョイ

We Serve



西条ライオンズクラブ 会員募集中!

◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。
世界で約 210 の国または領域にあり 46,000 を
超えるクラブが存在し、135 万人以上の会員が
います。
あなたも世界の一員になりませんか。

◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして結
成されました。「We Serve~我々は奉仕する~」を合言
葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動を行っ
ています。
人の為に、社会の為に、一人ではできないことを、出会い
を通して集まった会員が力を合わせて、それぞれの地域
において社会奉仕に貢献していこうという団体です。



熊本地震復興支援
募金活動
ポロイスカウトと共に

編集後記



2021 年、年が明け早くも 3 月になりました。

去年は少し楽だったのですが、今年は花粉の猛威に悩まされております。花粉に、新型コロナウイルスにと
大変な時期ですが、どちらも早く収まってくれることを願ってやみません。

西条ライオンズクラブは、今期結成 60 周年の年となり、当初の予定通りなら 5 月中旬に大会式典を行う
事が決まっていますが、さて、刻一刻と社会状況が変化している中で、予定通り開催できるのか、心配で
す。先の見えない事を予想するということは予言者でもない限り不可能、それならば今出来得る限りの事
を全力でやるしかないのかなと私は思います。

そして、クラブ結成 60 周年に向けて先頭をきって準備に力を注いでいた憲さんと、こんなにも早く、そし
て急な別れになろうとは本当に無念で、寂しくなりません。憲さんの意思を胸に、クラブメンバー一丸と
なって無事に周年を迎えられる事が何よりの供養になると思います。

皆さんの御協力を宜しくお願い致します。

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員 小野雅志

ほのほのシリーズ



[わたしの好きなもの]

No. 26 伊藤孝司

①好きな食べ物

青魚 (・・・で日本酒)

②好きな歌

峠の幌馬車 (ビリーヴォーン楽団)

③好きな言葉

一所懸命

余り好きでない言葉・・・一生懸命

④好きな車

ミゼット (ダイハツ)

⑤好きな所

スイスからのアルプス最高峰モンブラン
(4,807m)

※アルプス・・・ドイツ語名 アルペン
フランス語名 アルプ
イタリア語名 アルピ



発行者 会長 宮崎英明
幹事 伊藤正己
[MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会]
委員長/副委員長 盛實正人/小野雅志
編集委員 越智英明・寺川治美・日野克則
安藤和浩・高田潤一
例会日 毎月 第1・第3火曜日 (12:30~13:30)
例会場 西条商工会館
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8
西条商工会館3F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail saijo-ic@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ http://saijo-lions.jp

facebook http://facebook.com/saijo.lions/